

最新の検査機器導入

東名古屋画像診断クリニック

新築移転、来月1日開院

新築移転した東名古屋画像診断クリニックの内覧会が11日、名古屋市昭和区山手通の新施設で行われ、がんやアルツハイマー型認知症の早期発見につながる最新のPET-CT、MRI装置のほか、リラックスできる雰囲気健康診断専用フロアが披露された。新施設は10月1日に開院する。

同クリニックは、岐阜市出身の医師岩田宏氏が理事長を務める。前身のクリニックは2008年に愛知県がんセンター(名古屋千種区自由ヶ丘)敷地内に開

院。連携医療機関からの依頼による保険診療と会員制健康診断「CELEB」の両輪で東海地方の医療を支えてきた。土地の返却時期



MRI検査時の緊張や不安の軽減につなげてもらおうと導入した、検査室全体を映像で彩るシステム。名古屋市中昭和区山手通、東名古屋画像診断クリニック

が迫ったことから「機器、空間、健診の進化」に注力した新施設を開所させる。鉄筋コンクリート5階建て、延べ床面積約4250平方メートル。PET-CTとMRIは各2台導入。MRI検査時は、検査室全体に海や森の映像を映し出したり音楽を流したりして、緊張や不安軽減につなげる。

会員制健康診断は、保険診療の患者と交わらない動線確保。また、半年後のフォローアップ検査など1年間にわたってサポートが受けられるプレミアムコースを新設した。岩田理事長は「PET-CTを含めた重装備の健康診断を受けられる施設は少ない。地下鉄の駅からすぐとアクセスが良く、岐阜の人にも来てもらえれば」と話した。

岐阜新聞 令和8年9月12日付掲載
岐阜新聞社に許可を得て掲載しています